



湾岸・アラビア半島地域ニュース

UAE：金融混乱がGCC経済に与える影響

(10月27日付ハリージ・タイムス)

27日付ハリージ・タイムスは、金融危機のGCC経済に対する影響に関し、ガルフ・リサーチ・センターのカイクアルト・ウォルツ・プログラム・マネージャーの見解を中心に報じている。概要以下の通り。

1. 湾岸 SWF の資産は 40%以上が株式であり、世界的な金融市場の混乱がこれら SWF に与える影響は相当なものであるに違いない。湾岸 SWF は、世界中で 1 兆 5,000 億ドルもの資産を運用しており、当地の銀行よりも債務担保証券のようなハイリスクの債権に投資をしていたと考えられる。
2. ただし、銀行と違い、これらの資産がデフォルトを起こさない限り、SWF は市場価値が減少しても対応に迫られず、償還期限の到来や嵐が過ぎ去るまでこれらの資産を保有し続けることができる。しかし、湾岸 SWF は、ポートフォリオの多様化を図り、比較的高い油価を享受しているとはいえ、2007 年とは異なり、2008 年度の損失は湾岸 SWF に相当な打撃を与えたはずである。
3. ただし、湾岸系銀行への影響は欧米における銀行が 5,000 億ドルの評価損を計上したのと比較するとそれほど大きくない。これまで公表された評価損は主なもので 2007 年末時点のアブダビ商業銀行 2 億 7,200 万ドル、バハレーンのアラブ・バンキング・コーポレーション 2 億 4,600 万ドルであり、今年末はさらに 2 億ドルが加わる見込みである。
4. 湾岸 SWF の対外資産は、今年末に 1.8 兆～2 兆ドルに達すると推計され、その 60%はドル建て資産であり、資産の目減りが懸念される。また、GCC 諸国の急成長する金融市場は資金調達コスト上昇を受け、大規模な融資が行えなくなっている。7 月以降、企業の借入れスプレッドは急上昇しており、大型のプロジェクト・ファイナンスの実現性に深刻な影響を与えるだろう。